

授業改善推進プラン【社会科】

谷戸第二小学校

1 調査結果の分析

＜関心・意欲・態度＞

社会科への興味・関心は高く、見学や調べ学習に意欲をもって取り組んでいる。

＜思考・判断・表現＞

資料から読み取った事実を基にして自分なりの考えを導き出すなど、自ら考えていくことを苦手とする児童が多い。

＜技能＞

身に付けた知識や技能を問題解決学習に活用する力に個人差が大きい。

＜知識・理解＞

工業地域の地図上の位置や名称、歴史上の出来事や人物の名前など、正確な知識が未定着の傾向がある。



2 授業改善の方策

＜関心・意欲・態度＞

- ・ 課題提示を工夫し、中心資料を用意する。
- ・ 社会的な事象の背景にある、人の願いや思いに気付かせる。
- ・ 人や社会に自分からどのようにかかわっていくかについて考え、進んでかかわろうとする態度を育てる。

＜思考・判断＞

- ・ 資料の数値の変化や、他の資料との異同等に着目し、自分の考えをまとめることができるようにする。
- ・ 資料を読み取り、活用するに当たり、適切な発問や指示を適宜行う。
- ・ 分かったことを文章や図、表などにまとめたり、話し合ったりして読み取りに生かしていく。

＜技能＞

- ・ 教材・教具の使い方を定着させ、地図や地球儀、年表などを用いた調べ学習ができるようにする。

＜知識・理解＞

- ・ 授業では調べる活動や体験的な活動が中心になり、基礎的な事項を繰り返し押さえる学習が不足しがちな傾向がある。学習したことを全体で共有し、一般化を図る作業を大切にしたい。
- ・ 学習内容を整理したり、確認したりする時間をとる。

◎言語活動の充実

- ・ 児童が資料等から得た情報や思いを自分の言葉で話したり、書いたりする時間を確保し、言語活動の充実を図っていく。



3 補充的・発展的な学習指導

活用型の学習を進める中で出てきた新たな疑問をさらに追究する時間を設定し、問題解決の力を育てる。また発展的な学習については地域の実態や総合的な学習の時間との関連も図っていく。